第35回全日本総合選手権大会

湧永、堂々の5連勝

大崎（女子）17年ぶりの栄冠

第35回全日本総合選手権大会は、12月14日から18日までの5日間、東京体育館で開催された。

優勝争いは、男子の方は9年連続して湧永製薬（広島）と大同特殊鋼（愛知）の争いとなり、5連覇を目ざす湧永が、一進一退の展開から終盤に至って一気に爆発、18対14と大同を振り切って5年連続7回目の優勝を果たし、これで全日本実業団、国体に続いて三冠目を獲得した。

女子の方は、名門・大崎電気（埼玉）と今季四冠を目ざす立石電機（熊本）との争いとなった。前半立石のリードで展開したが、昨年、一昨年と決勝で涙を飲んできた大崎が、後半に名門復活への意地を見せ、逆転で17年ぶり3度目の栄冠を獲得した。

男子

▽1回戦

日本大学 35（17－6、18－5）11 岩国ク

得	【日大】		【岩国】	得
0	宮田	GK	中元	0
0	森田	GK		
4	内藤	FP	旗手	0
0	小林	FP	善本	0
7	加藤	FP	清水	3
6	金原	FP	大江	2
1	武田	FP	中村	2
4	嶋川	FP	植木	4
0	佐藤	FP	西本	0
2	阿部	FP		
6	濱田	FP		
5	岡	FP		
		（審・岡本 清水）		
35	(1)	PT	(2)	11

○…日大は学生チームらしく全員で良く動き、帰りの遅い岩国に立ち上がりから得点をし楽な試合展開をするが、ミスも目立ち得点が13点から止まってしまったのは気のゆるみか……。岩国も頑張るも今一つスピードが足りず、攻撃、ディフェンスとも振り切られてしまう。後半も前半と全く同じで点差が開くばかりで日大のワンサイドで終る。（松尾）

全滋賀 32（13－12、19－11）23 トヨタ車体

得	【滋賀】		【車体】	得
0	橋山	GK	工藤	0
		GK	近藤	0
2	位田	FP	藤長	2
3	伊藤	FP	荻原	2
3	能波	FP	浜口	11
8	井上	FP	松井	4
6	武田	FP	井上	0
1	大野	FP	石原	1
8	村崎	FP	佐藤	0
1	林田	FP	中島	1
		FP	大塚	2
		FP	飯笹	0
		（審・後藤 島田）		
32	(1)	PT	(0)	23

○…7番のシュートで突破するトヨタに対し、9番、3番の展開から攻撃をつなぐ滋賀が、立ち上がりから先行したが15分過ぎトヨタは同点に追いつき、以後コンビネーションでやや勝る滋賀が13－12で前半終了。後半開始、気力充実のトヨタが逆転に成功したが、10分過ぎ再び滋賀がリードを奪いかえし、以後、徐々に点差を広げた。トヨタも必死にくいさがったものの、シューターが7番に集中し、プレーの多彩な滋賀の快勝。（北井）

同志社大学 31（13－9、18－10）19 東京重機

得	【重機】		【同志社】	得
0	吉田	GK	花田	0
		GK	渡井	0
0	矢島	GK	児玉	3
1	卯野	GK	鈴木	6
7	千葉	GK	奥畑	6
1	佐藤章	GK	岩本	1
1	佐藤衛	GK	三幸	5
0	奥山	GK	江南	0
3	古屋敷	GK	池辺	1
5	鷹野	GK	増田	1
0	衣笠	GK	酒井	2
1	高橋	GK	宮下	6
		（審・福田 松尾）		
19	(2)	PT	(5)	31

○…前半は両チームとも動きが硬くミスの多いゲーム展開となった。しかし、同志社は前半の終り頃エース宮下が投入されるや主導

『ハンドボール』

昭和59年2月号（第226号）目次

権を握り13—9で前半を終了した。後半になると同志社が地力を発揮し、速攻、ロング、ポストなどの多彩な攻撃から得点を重ね勝利をおさめた。(清水)

大同ク 30 (13—15, 17—9) 24 三景

得	【大同ク】		【三景】	得
0	小野	GK	中村	0
0	福井	GK	野田	0
8	野田	FP	犬飼	3
7	藤中	FP	田畑	8
4	加藤	FP	溝部	6
4	中井	FP	奥村	1
1	松原	FP	藤山	1
3	花輪	FP	白倉	1
1	清崎	FP	岡部	1
1	伊藤	FP	山田	2
0	更谷	FP	近藤	1
0	桑幡	FP	大谷	0
30	(3)	PT	(3)	24

(審・上久保 北井)

○…元全日本で固めた大同クは、立ち上がりから全員がシュートを決め着実にリードを保つ。三景は、大同クの厚いディフェンスに阻まれ、得意のポストプレーが使えずに10分間で田畑のミドル・シュート1本のみ。後半開始早々野田のブロンジョンシュートも出て大同の一方的なペースになる。15分過ぎになってやっと三景は自分のペースを取り戻したが点差をつめるだけで終った。(島田)

慶応義塾大学 23 (10—11, 13—11) 22 中村荷役

○…慶応大が若さあるれるプレーにより加点して行き、カットプレーからのシュートが結びつき、後半終了までシーソーゲームであったが中村荷役はディフェン

得	【中村】		【慶応】	得
0	高橋	GK	上原	0
0	末次	GK	青木	0
2	飯田	FP	石塚	4
0	松本	FP	小磯	0
5	坂田	FP	余語	0
4	西窪	FP	山口	5
0	大木	FP	津村	2
7	下戸	FP	田中	0
1	辻	FP	渡辺	0
2	三屋	FP	平林	5
1	塚田	FP	高岡	3
0	永沢	FP	今井	4
22	(2)	PT	(2)	23

(審・佐分 三枝)

スの甘さが目立った。(井上)

湯沢ク 29 (15—13, 14—12) 25 本田技研熊本

得	【熊本】		【湯沢】	得
0	岩木	GK	吉田	0
0	森	GK		
7	田上	FP	佐藤文	6
3	斉所	FP	佐々木	3
0	入江	FP	古関	6
0	松永	FP	菅野	3
0	岩永	FP	近野	0
0	岡崎	FP	藤原	1
15	佐伯	FP	半田	4
0	中村	FP	斉藤	6
0	鯖江	FP	佐藤久	0
0	益田	FP		
25	(3)	PT	(2)	29

(審・新村 大塚)

○…ポストプレーを多用し、ロングヒッターとの連携が得点源の湯沢が先行すれば、熊本は佐伯をロングの軸に加点し、また、5分過ぎ一時は同点に追いついたが、大切な所で退場の反則をだしてしまったのは惜しまれる。

後半両チーム単調にシュートし相手の速攻を許していたが、中盤からはポストのブロックやブラインドをついた好プレーが盛り上げた。ディフェンスに雑なポジションチェンジの本田に湯沢が走り勝ちした。(千野)

わかくさクラブ 35 (19—9, 16—9) 18 自衛隊呉

得	【わかくさ】		【自呉】	得
0	丸山	GK	阪井	0
0	佐伯	GK	須堯	0
0	佐川	FP	岩山	0
4	阪本	FP	寿賀	0
0	福西	FP	塩見	0
1	小林	FP	和田	1
13	玉村	FP	岡田頼	1
6	金丸	FP	池田	6
5	村田	FP	岡田正	6
6	菅沼	FP	村岡	1
0	谷	FP	利光	3
0	田中	FP		
35	(5)	PT	(1)	18

(審・島崎 上野)

○…自衛隊呉のペースで始まったこのゲームも前半10分まで凡戦つづき。わかくさクも玉村が12分間無得点と苦しいスタートであったが本来の動きがでて5得点、中田、玉村ならではの攻撃は切れ味もよく、後半に入っても呉のつけいるすきを与えなかった。呉も最後まで頑張るがセット攻撃に幅広さが不足し中央攻撃にこだわりすぎていた。(三枝)

トヨタ自動車 31 (18—17, 13—12) 29 中央大学

得	【自動車】		【中大】	得
0	玉津	GK	木村	0
0	中西	GK	宇田川	0
0	城ヶ原	FP	実方	8
6	小山	FP	大谷	6
5	高木	FP	生駒	0
0	鈴木	FP	安藤	3
0	相本	FP	清家	3
0	近藤	FP	小山	1
12	川田	FP	内間	0
7	香井	FP	松田	2
0	久本	FP	大木	6
1	松永	FP	茂木	0
31	(3)	PT	(3)	29

(審・斉藤 千野)

○…トヨタ対中大のゲームは速攻がないスローなゲーム展開で終始進められ、特にトヨタは中大エリア前で全員が良く動き加点する。一方、中大も実方を中心に個人技で対抗するが、せっかくの得点もディフェンスが弱くすぐに返されトヨタペースで終始リード、31—29でトヨタが中大を破った。それにしても中大の気力のなさが目立ちふがいない一戦であった。(大塚)

▽2回戦

湧永製薬 27 (12—9, 15—6) 15 日本大学

得	【日大】		【湧永】	得
0	宮田	GK	大城	0
0	森田	GK	井藤	0
2	内藤	FP	池ノ上	5
0	小林	FP	生駒	3
4	加藤	FP	穂積	3
4	金原	FP	藤本	3
1	武田	FP	志賀	2
0	嶋川	FP	中川	3
0	佐藤	FP	松本	1
0	阿部	FP	山本	5
3	浜田	FP	原田	1
1	岡	FP	楢原	1
15	(1)	PT	(6)	27

(審・島崎 井上)

○…好守を見せる両チームGKに盛り上がりを見せ開始5分30秒やっと湧永が先制ゴール。湧永の大きい高さあるディフェンスの前に日大も良く健闘をしていたが、2本のPT失敗でペースが変り、走りのある突破力を持つ湧永には一方的に加点された。後半湧永のロングを前につめ、攻めのディフェンスを敷いた日大は、攻めにもリラックスが見え、走りも良く加点健闘した。湧永は若手の加入でポストのコンビも良く決まると一段とたのもしさを覚える。(千野)

三陽商会 31 (14—15, 17—11) 26 全滋賀

得	【三陽】		【滋賀】	得
0	大山	GK	橋山	0
0	田村	GK		
8	関	FP	位田	2
7	金子	FP	伊藤	1
0	田口	FP	能波	4
7	坪子	FP	井上	5
5	砂川	FP	武田	3
2	山口	FP	大野	0
0	石原	FP	村崎	11
0	望月	FP	林田	0
0	鵜沢	FP		
2	亀井	FP		
31	(4)	PT	(6)	26

(審・斉藤 千野)

○…三陽の攻撃は最初から良く走り、シュートも高低、左右と決まる。全滋賀も時々三陽のディフェンスに穴があくところを、スカイプレー等もしながら得点するが日本リーグでもまれている三陽商会にはもう一歩届かなかった。(井上)

筑波大学 29 (15—6, 14—10) 16 同志社大学

得	【同志社】		【筑波】	得
0	花田	GK	山崎	0
0	渡井	GK	岡本	0
2	児玉	FP	朝生	8
2	鈴木	FP	来野	1
3	奥畑	FP	角	5
0	岩本	FP	杉森	1
0	三幸	FP	田川	0
0	江南	FP	武井	4
0	池辺	FP	田中	7
0	増田	FP	花田	0
1	酒井	FP	山中	0
8	宮下	FP	高橋	3
16	(2)	PT	(4)	29

(審・島崎 井上)

○…同大は立ち上がりこそ鋭いカットインでリードしたものの、ポスト、キャッチミス、シュートミス等が目立ち、又筑波のスピー

ド攻撃に対するディフェンス力も劣り、スピード、展開力等総合的に勝る筑波大の順当勝ち。筑波大もステップ等研究の余地がある。（斉藤）

大同ク 24（13－5、11－18）23 本田技研鈴鹿

	【大同ク】	得	【鈴鹿】	得
GK	小野	0	大畑	0
GK	福井	0	中尾	0
FP	野田	4	佐々木	4
FP	藤中	6	三本松	6
FP	加藤	3	喜井	1
FP	中井	3	豊岡	0
FP	松原	5	玉井	0
FP	花輪	3	栗屋	0
FP	清崎	0	坂本	4
FP	伊藤	0	尾上	4
FP	更谷	0	田野	4
FP	桑幡	0	吉山	0
PT		24 (1)		23 (5)

（審・斉藤、千野）

○…前半は固い守りの本田が順調に点を重ね終了したが、後半に入ると大同クのペースでゲームが展開され守ってはGKの好守もあり前半とうって変った本田のミスが目立ち、シュートも散発、後半残り1分大同の逆転にてベテランの味を見せた一戦であった。本田の若さが目立つ。（島崎）

日新製鋼 30（17－13、13－9）22 慶応義塾大学

○…秋期リーグ、インサレで上昇著しい慶大の健闘が期待されたが、開始早々から平林を中心にした慶大のスピーディなゲーム運びで好ゲームとなった。

地力に勝る日新は後半10分を契機に差を広げエース西山の10得点、更に高木の7得点にみられるように、ロングシュートには目をみはるものがあり、健闘の慶大をねじ伏せた。（岡本）

	【日新】	得	【慶応】	得
GK	谷	0	上原	0
GK	三田	0	青木	0
FP	泉	2	石塚	2
FP	徳田	0	小磯	0
FP	大庭	0	余語	1
FP	洞ヶ瀬	0	山口	4
FP	日野	0	津村	3
FP	森	5	田中	0
FP	甲斐	2	渡辺	0
FP	高木	7	平林	7
FP	西山	10	高岡	3
FP	藤井	4	今井	2
PT		30 (1)		22 (3)

（審・福田、松尾）

栃の葉ク 40（19－13、21－13）26 湯沢ク

	【栃の葉】	得	【湯沢】	得
GK	高橋	0	吉田	0
GK	岩下	0		
FP	川田	6	佐藤文	1
FP	河先	3	佐々木	7
FP	中山	5	古関	1
FP	山本	0	菅野	7
FP	小西	2	近野	1
FP	大出	2	藤原	0
FP	滝口	16	半田	2
FP	名嘉	6	斉藤	6
FP	岸	0	佐藤久	0
FP	中島	0	阿部	1
PT		40 (3)		26 (0)

（審・岡本、清水）

○…クラブチーム代表の両雄、栃の葉は8番を中心としたコンビネーション攻撃で、一方湯沢は出足からポストプレーを中心の攻撃をしたが、10分過ぎ栃の葉ディフェンスが見破りインターセプトから速攻に結び6点差とするも、湯沢もミドルシュートを加えた攻撃に替え3点差まで追いつくが、スピードに勝る栃の葉が大量8点リードで前半を折り返す。後半開始2分で連続3点ゲットで栃の葉10点差、途中7、8点差になるがすぐに10点差の状況が続き、中盤で勝負が決した感でそのままの攻防で後半は凡戦となり40－26の大差で栃の葉が勝った。（福田）

大崎電気 31（19－15、12－11）26 わかくさクラブ

	【大崎】	得	【わかくさ】	得
GK	原田	0	丸山	0
GK	矢内	0	佐伯	0
FP	斉藤	7	佐川	0
FP	東江	2	阪本	1
FP	武田	0	福西	0
FP	長野	14	小林	1
FP	櫛田	0	玉村	13
FP	松岡	5	金丸	2
FP	越迫	2	村田	5
FP	宮崎	0	菅沼	4
FP	星野	0	谷	0
FP	大澤	1	田中	0
PT		31 (0)		26 (2)

（審・福田、松尾）

○…開始直後から両チームとも主導権を取り合い、長野のロングなどで3－1とした大崎が主導権を取ったかに見えたが、玉村のロングなどで15分5－5とわかくさが同点とした後は、一進一退のゲームで12－11で大崎リードで前半を終了した。後半も20分まで同点をくり返す展開となったが、大崎が3連取した後やや集中力の欠けたわかくさのミスが多くなり、又、大崎GK矢内のファインプレーもあって大崎が実力を発揮し勝利をおさめた。

大同特殊鋼 39（19－7、20－11）18 トヨタ自動車

○…大同は立ち上がりから全員良く動き得点して楽なゲーム展開となる。トヨタも積極的に攻撃をするが大同のディフェンスが高くシュートが今一つ決まらず苦しむ。トヨタは後半も単調な攻撃で点差が開きワイサイドゲームとなる。（松尾）

	【自動車】	得	【大同】	得
GK	王津	0	上村	0
GK	中西	0	柳川清	0
FP	城ヶ原	1	田中	1
FP	小山	2	田口	6
FP	高木	1	小野	7
FP	相本	0	柳川実	5
FP	近藤	0	大原	1
FP	川田	4	中本	3
FP	香井	7	河井	0
FP	大川	0	蒲生	4
FP	久本	0	市川	4
FP	松永	3	高村	8
PT		18 (1)		39 (3)

（審・岡本、清水）

▽3回戦

湧永製薬 22（13－11、9－6）17 三陽商会

	【湧永】	得	【三陽】	得
GK	大城	0	大山	0
GK	井藤	0	田村	0
FP	池ノ上	6	関	3
FP	生駒	1	金子	2
FP	穂積	2	田口	3
FP	藤本	4	坪子	0
FP	志賀	1	砂川	1
FP	中川	0	山口	3
FP	松本	3	石原	5
FP	山本	5	望月	0
FP	原田	0	鵜沢	0
FP	楢原	0	亀井	0
PT		22 (2)		17 (2)

（審・斉藤、千野）

○…湧永対三陽の一戦は気合の入ったハードプレーの応酬で見ごたえのある好ゲームを展開した。両チームともロングシュート、ポストシュートまたサイドシュートと多彩な攻撃でコート一杯を使い走り、跳び、投げ、倒れハンドボールのダイゴ味を十分出しつくし見ごたえのある好ゲームであった

が、巨砲をそろえた湧永が順当に三陽を振り切った。（大塚）

大同ク 23（10－8、13－9）17 筑波大学

得	【大同ク】		【筑波】	得
0	小野	GK	山崎	0
0	福井	GK	岡本	0
6	野田	FP	朝生	2
4	藤中		角	4
1	加藤		杉森	4
2	中井		田川	0
3	松原		武井	2
7	花輪		田中	2
0	清崎		花田	0
0	伊藤		山中	0
0	更谷		高橋	4
0	桑幡		来野	0
23	(3)	PT	(2)	18

（審・福田・松尾）

○…大同クのスローオフで始まり開始58秒藤中のゲット、それに対し筑波大は3分40秒杉森のゲット、両チームともにスローペースでゲーム展開、ベテランの大同クに対し若さの筑波であったが要所要所を大同クの藤中、花輪とミドルあり、ポストありとディフェンスを攪乱大同ペースで前半終了。後半は筑波大が健闘したがベテラン勢の前に涙を飲む。（島崎）

日新製鋼 34（17－12、17－8）20 栃の葉ク

得	【日新】		【栃の葉】	得
0	谷	GK	高橋	0
0	三田	GK	岩下	0
1	泉	FP	川田	3
0	徳田		河先	1
3	吉見		中山	5
1	洞ヶ瀬		山本	0
1	脇若		小西	2
5	森		大出	0
1	甲斐		滝口	6
9	高木		名嘉	3
7	西山		岸	0
6	藤井		中島	0
34	(3)	PT	(0)	20

（審・島崎・井上）

○…地力で栃の葉に勝る日新が高木のロングを中心にポスト、サイド速攻とコンスタントに得点をあげ、大差で勝利をおさめた。後半には栃の葉も川田、滝口のロングを中心に反撃を見せ、日新のエース西山をマンツーマンに出るなど健闘したが、日新の勝利をおびやかすところまではいかなかった。（清水）

大同特殊鋼 25（14－11、11－9）20 大崎電気

得	【大崎】		【大同】	得
0	原田	GK	上村	0
0	矢内	GK	柳川清	0
1	斉藤	FP	田中	0
7	東江		田口	5
0	武田		小野	3
9	長野		柳川実	4
0	櫛田		大原	2
1	松岡		中本	1
2	越迫		河井	0
0	宮崎		蒲生	5
0	星野		市川	2
0	大澤		高村	3
20	(3)	PT	(1)	25

（審・岡本・清水）

○…日本リーグで互いに手のうちを知りつくしている両チーム、出足両チームエース同士が互いにゲットし順調なゲーム展開で進むが、14分経過した時、大崎は退場となるプレーでフィールドプレーヤーが4名となりこの機に大同は蒲生などがゲットしてリードする。後半立ち上がり、大同うまい攻めで3点連続ゲットで5点差とす。中盤大崎・長野のミドルシュートで3点差までつめるが、大同・田口、高村、蒲生等の連続ゲットで突き離し5点差の25－20で大同が勝利をものにした。（福田）

▽準決勝

湧永製薬 27（16－7、11－7）14 大同ク

得	【湧永】		【大同ク】	得
0	大城	GK	小野	0
0	井藤	GK	福井	0
4	池ノ上	FP	野田	0
1	生駒		藤中	7
5	穂積		加藤	1
2	藤本		中井	1
3	志賀		松原	1
1	中川		花輪	3
0	内田		清崎	0
7	松本		伊藤	1
0	山本		更谷	0
4	津川		桑幡	0
27	(3)	PT	(3)	14

（審・福田・松尾）

○…湧永のシューターのコースを知る大同クGK福井の好守に再三のシュートチャンスをつぶされた湧永は、スタート地点のつまづきを5分過ぎからサイドからのタイミング良い回り込みの走りを利用し、中央突波のシュートやサイドシュートで連取し、優位に立てば大同クはベテランの味を随所に出し、藤中を軸にボールを集め、ポストの花輪とのコンビ良く加点するが、再三のパスミスから速攻などを許し、苦戦を強いられた。（千野）

大同特殊鋼 22（8－12、14－7）19 日新製鋼

得	【大同】		【日新】	得
0	上村	GK	谷	0
0	柳川清	GK	三田	0
0	田中	FP	泉	2
4	田口		徳田	0
2	小野		吉見	1
6	柳川実		洞ヶ瀬	3
0	大原		脇若	0
1	中本		森	2
0	河井		甲斐	1
5	蒲生		高木	2
0	市村		西山	3
4	高村		藤井	5
22	(2)	PT	(1)	19

（審・島崎・井上）

○…王座奪回をねらう大同と進境著しく初優勝に秘かに照準をあわせる日新の対決は、ゲーム開始からスピードのある激しいゲームとなった。田口、高橋の高い角度からのロングと、西山、高木のクイック気味のロングシュート合戦は、大同GK上村の好守もあって大同が一歩リード、前半予想外の大差で大同リードで折り返した。しかし、後半に入ると日新の動きが活発になり11分には16－11、14分には17－13、そして20分には17－16と猛追した。しかし、ここで大同はテクニシャン大原を投入、カットイン、ポストパスと連続巧技で2点をもぎとり、この差を生かして日新の反撃を振り切った。日新の速攻が前半から出ていればと惜しまれるゲーム。（岡本）

▽決勝

湧永製薬 18（10－7、8－7）14 大同特殊鋼

○…湧永対大同の決勝対決は、ダイナミックでハードなハンドボールの面白さの出た一進一退の好ゲームで場内を湧かせた。前半20分頃までは蒲生を中心とした大同のペースで展開したが、湧永の固いディフェンスに阻まれリード出来ず、一方湧永は穂積、津川がチームを引っ張り、池ノ上で対決

得	【湧永】		【大同】	得
0	大城	GK	上村	0
0	井藤	GK	柳川清	0
7	池ノ上	FP	田中	0
0	生駒		田口	3
2	穂積		小野	3
2	藤本		柳川実	1
0	志賀		大原	4
0	中川		中本	0
1	松本	（審・斉藤 千野）	河井	0
5	山本		蒲生	2
0	原田		市川	0
1	津川		高村	1
18	(3)	PT	(2)	14

するが、これも決定打に至らず。

しかし、20分を過ぎた頃より次第に単調な大同から湧永のペースになる。後半に入って湧永GK井藤の好守と高い壁で守りを固める大同と一進一退が続くが、蒲生にボールを集め力の攻撃の大同に対し全員でボールを回しゴールを狙っていく湧永は残り1分、山本、津川の連続ゲットで大同の力を封じ込めた。（大塚）

女子

立石電機 29（16 13 − 10 13）23 東京重機工業

得	【重機】		【立石】	得
0	深瀬	GK	井村	0
0	石井	GK	荒木	0
7	中本	FP	是枝	1
0	呑村		亀園	0
1	森田		イレシュ	4
0	小野		藪田	1
5	沖山		岩村	5
1	大前		近藤	6
3	渡辺	（審・佐分 三枝）	江口	4
6	安田		山口	0
0	矢田		山内	2
0	星		野嶋	6
23	(4)	PT	(5)	29

○…今秋日本リーグ一部昇格の東京重機は、女王・立石を向うに溌剌、ハッスルプレーで大健闘。前半、速いボール回しで目まぐるしく動く往年の重機らしさが久し振りに出て、立石の固い守りをゆさぶり終始リード。しかし、さすが立石はあわてずさわがず、若手中心で戦ったが13−13で前半を終わる。後半に入り、立石はイレシュを投入し、攻守にリズムが出て29−23で終わるが、重機の大健闘で会場を湧かせた好ゲームであった。（大塚）

プラザー工業 19（10 9 − 7 5）12 東京女子体育大学

得	【ブ工】		【東女】	得
0	畑添	GK	中川	0
0	大数	GK	大坪	0
2	杏原	FP	内山	1
4	竹内		妹川	3
0	赤井		喜田	0
2	中村		酒井	0
6	増永		宮脇	2
0	太田		小池	5
0	松岡	（審・新村 大塚）	篠原	1
0	塩谷		田島	0
0	森山		二村	0
5	松下		大畑	0
19	(2)	PT	(1)	12

○…両チーム互角の戦いから攻撃面に詰めに欠ける東女体大をプラザーが一歩リード。両チーム共ゴールエリア附近につまった状態からの攻撃が多く、本来の力を見せてくれなかった

しかし、東女体大のミスから速攻をものにしたプラザーが逃げ切った。（三枝）

日本ビクター 27（14 13 − 8 8）16 大阪体育大学

得	【大体】		【日ビ】	得
0	吉田	GK	渡辺	0
0	野村	GK		
8	伊勢	FP	村上	1
0	大里		志村	7
1	小川		中根	3
0	筒井		門脇	0
0	望月		長田	6
3	池上		武藤	7
0	松本	（審・佐分 三枝）	遠藤	1
0	森山		池田	0
2	橋本		下條	2
2	藤田		平松	0
16	(3)	PT	(4)	27

○…攻守に一日の長のあるビクターが余裕のあるゲームを展開、追いすがる大体大を降した。前半ビクターに善戦した大体大が、後半シュートの甘さに逆速攻をかけられ、あるいは守備の甘さをつかれて大量に点を奪われ自滅したゲームであった。（新村）

日立栃木 26（14 12 − 5 7）12 古都クラブ

得	【日立】		【古都】	得
0	椿谷	GK	滝本	0
0	葛田	GK	田村	0
2	大高	FP	秋田	3
1	栗原		岩本	1
0	西山		多田	0
1	土屋		矢野	6
1	手打		山戸	2
8	前田		竹内	0
0	清水	（審・新村 大塚）	中江	0
4	吉田		西脇	0
8	山本		正本	0
1	藤田		国府	0
26	(9)	PT	(0)	12

○…日立はスタートから大高、前田のスピードあるシュートが決り主導権を握った。古都クラブは秋田、山戸の巧みなプレーで得点し良く食い下がったが、キャリア、体力に勝る日立は余裕あるゲーム運びで勝敗を決した。後半、古都クラブは一時3点差まで追いついたが、やはり力の差は大きかった。（佐分）

ジャスコ 38（19 19 − 6 5）11 あゆみ

得	【ジャ】		【あゆみ】	得
0	矢部	GK	山本	0
0	木村	GK		
3	松岡	FP	平田	3
5	寺沢		山下	2
2	鷲野		辻本	1
0	若林		小林	0
2	石田		重村	2
3	近藤		宮崎	1
9	三木	（審・後藤 島田）	川瀬	0
3	野村		横山	2
2	十丸			
9	宮本			
38	(2)	PT	(1)	11

○…はからずも姉妹チーム（あゆみクラブはジャスコのOG）が初戦で顔合せ、手の内を知り尽くしたというより燃えにくいぎこちなさが立ち上がりから見られたが、時間の経過とともに現役とOGのプレーの差がそのまま得点差に表れた。後半に入ってもペースはかわらず、活発なプレーを展開するものの、なかなか得点に結びつかないあゆみクラブに対しジャスコは余裕を持って振り切った。（北井）

日本体育大学 36（3 3 16 14 − 3 2 13 17）35 北国銀行

○…立ち上がり両チーム互角。20分まで一進一退の展開であった

	【北国】	得	【日体】	得
GK	辻	0	小野	0
GK	新宅	0	広瀬	0
FP	中川	6	池内	6
FP	八木	14	呉田	5
FP	和田	4	石原	2
FP	中田	3	宮田	8
FP	山崎	3	山本	9
FP	丸山	5	李	0
FP	小玉	0	上嶋	0
FP	三角	0	小口	1
FP	吉田	0	吉田	0
FP			大野	5

（審・上久保・北井）

36 （4） PT （6） 35

が、22分過ぎ北国はポストシュート、サイドシュートを決め2点リードしペースをつかんだかに見えたが、後半に入り日体大の追撃もすさまじくタイムアップ寸前同点とし今大会初めての延長戦に入る。延長戦に入り、北国はゲームメーカー・八木の動きをマンツーマンでとめられ、攻撃の決め手を欠き若い日体大が勝利をものにした。（後藤）

大和銀行 21（10－9、11－10）19 ムネカタ

	【ムネ】	得	【大和】	得
GK	岩瀬	0	高浜	0
GK	清水	0	松本	0
FP	藤谷	0	鈴木	4
FP	岡部	4	若杉	7
FP	吉田	2	前田	0
FP	小林	1	若水	2
FP	石田	5	馬渡	5
FP	大河原	3	天谷	0
FP	佐藤	4	川添	2
FP	和知	0	高橋	0
FP			秋成	1
FP			内窪	0

（審・後藤・島田）

21 （3） PT （7） 19

○…両者これという決め手のないままに攻防を展開、立ち上がりややコンビのとれないムネカタだったが、中盤より粘りを発揮し、19分6－6、28分10－10と追いついたが、結局11－10で前半は大和がリード。後半も両チーム共に活発に動き、一進一退をくり返し7度の同点、14分と20分にはムネカタが1点リードするなど二転三転したが、27分大和はやっと2点差とし、粘るムネカタを突き放した。（北井）

大崎電気工業 40（18－8、22－11）19 武蔵野クラブ

	【大崎】	得	【武蔵】	得
GK	梅野	0	高橋	0
GK	藤田	0	大畑	0
FP	大日	4	一宮	5
FP	宮嶋	4	星野	1
FP	石井	5	奈倉	1
FP	渡部	4	山本	5
FP	徳渕	3	松田	2
FP	時實	1	冬木	0
FP	嘉本	6	佐藤留	1
FP	李相玉	3	秋本	0
FP	李京姫	7	市川	0
FP	沖山	3	佐藤園	4

（審・上久保・北井）

19 （2） PT （4） 40

○…武蔵野クラブは立ち上がりGK大畑の好守と山本、一宮のシュートでリードしたが、地力に勝る大崎は8分45秒、李相玉のシュートで逆転した後連続速攻で得点を重ねて一方的にリードを奪い前半を終了。後半に入って李相玉、李京姫をベンチに下げた大崎は、守りに乱れが見られたが、さらに得点差をつけて逃げ切った。（島田）

▽2回戦

立石電機 24（9－7、9－11、3－2、3－2）22 ブラザー工業

	【立石】	得	【ブ工】	得
GK	井村	0	畑添	0
GK	荒木	0	大藪	0
FP	是枝	0	杏原	6
FP	桑原	1	竹内	5
FP	イレシュ	8	赤井	0
FP	藪田	7	中村	4
FP	喜久山	2	増永	7
FP	岩村	3	太田	0
FP	近藤	2	松岡	0
FP	江口	0	森山	0
FP	山内	0	松下	0
FP	野嶋	1	原田	0

（審・上久保・北井）

22 （3） PT （5） 24

○…立石は高いブロックを利用して前からシュ！トさせるのが成功し15分間ブラザーを1点に押えていたが、15分過ぎイレシュをベンチに下げると攻撃に凡ミスが目立ち、ディフェンスにも甘さが出てブラザーの追撃を許し、前半9－7で終了。後半、ブラザーは藪田へのマンツーマンを織り混ぜ立石の攻撃リズムの崩しに努力、終了5分前3点差で絶望的かと思われたが、ブラザーも驚異的粘りで同点にし延長。まさに1点を争うシーソーゲーム。最後は総合力に勝る立石が突き放した。（斉藤）

日立栃木 21（11－6、10－6）12 日本ビクター

	【日ビ】	得	【日立】	得
GK	渡辺	0	椿谷	0
GK			葛生	0
FP	村上	2	大高	1
FP	志村	2	栗原	1
FP	中根	0	西山	1
FP	門脇	0	土屋	0
FP	長田	1	手打	4
FP	武藤	5	前田	7
FP	遠藤	2	清水	1
FP	池田	0	吉田	3
FP	下條	0	山本	3
FP	須賀	0	藤田	0

（審・新村・大塚）

21 （4） PT （2） 12

○…激しくしかもきびきびしたゲーム展開で、日立は固い守りから速攻、セットと確実に得点し、前半10分で6－2と完全なる日立ペース。しかし、日立が11分から21分まで無得点の間ビクターは1ゴールのみ。主砲・志村、武藤が不発、苦しいビクターだが、後半10分過ぎ本来の速攻から反撃しゲームを盛り上げるが、日立ペースのまま試合終了。（三枝）

ジャスコ 23（14－10、9－10）20 日本体育大学

	【ジャ】	得	【日体】	得
GK	矢部	0	塩畑	0
GK	木村	0	広瀬	0
FP	松岡	2	池内	2
FP	寺沢	7	呉田	2
FP	鷲野	3	石原	0
FP	若林	0	宮田	1
FP	石田	4	山本	4
FP	近藤	0	李	0
FP	三木	0	上嶋	0
FP	野村	0	小口	4
FP	十丸	0	吉岡	1
FP	宮本	7	大野	6

（審・佐分・三枝）

20 （4） PT （3） 23

○…ゲーム開始早々から両チーム共速攻とカットインの小技の応酬となり1点を争う好ゲームとなった。PTを4本も止めたGK広瀬の活躍もあって日体大が10－9とリードして前半を折り返した。今期日本リーグ2位のジャスコはさすがに後半に入るとたて直し、日体大のミスを拾って速攻、3分に同点、5分に逆転そのまま差を広げ15分には4点差をつけた。しかし、粘る日体大は速攻で連取し18分には1点差まで詰めた

が勝負はここまで、ジャスコが逃げ切って勝利を得た。学生チャンピオンの日体大の健闘が印象に残る好ゲームであった。（岡本）

大崎電気 24（11－10／13－9）19 大和銀行

【大崎】	得		【大和】	得
梅野	0	GK	高浜	0
藤田	0	GK	松本	0
大口	0	FP	鈴木	1
宮嶋	2	FP	若杉	6
石井	4	FP	前田	0
渡部	3	FP	若水	2
徳渕	0	FP	馬渡	3
時實	0	FP	天谷	1
嘉本	0	FP	川添	3
李相玉	7	FP	高橋	1
李京姫	8	FP	秋成	2
沖山	0	FP	田畑	0
	24	(4) PT (3)		19

（審・後藤 島田）

○…大和が粘り強い攻防を見せて前半中盤まで一進一退の白熱した展開。しかし、余裕のある大崎は動きのコンビネーションも良く13－9で前半折り返す。後半、大和が必死に追い込み、10分にタイに追いつき両チーム激しい攻防となった。終盤、大崎は李相玉の活躍で粘る大和を突き放した。（北井）

▽準決勝

立石電機 21（10－11／11－6）17 日立栃木

○…昨年優勝の立石に対する4年ぶりに準決勝に進出した日立。立ち上がり立石は近藤のサイドシュート、イレシュの3連続ポストシュートなどで4点を連取した。しかし、その後は日立の前田のロングシュートが決まり始め、

【日立】	得		【立石】	得
椿谷	0	GK	井村	0
葛生	0	GK	荒木	0
大高	2	FP	是枝	0
栗原	1	FP	桑原	0
西山	2	FP	亀園	2
土屋	2	FP	イレシュ	7
手打	2	FP	藪田	3
前田	6	FP	喜久山	0
清水	0	FP	岩村	2
吉田	0	FP	近藤	3
山本	1	FP	江口	1
藤田	1	FP	野嶋	3
	17	(1) PT (4)		21

（審・新村 大塚）

一進一退の攻防で前半を終了。後半に入っても日立は立石のディフェンスを思うように破れず、前半のリードに守られた立石が勝利をものにした。この試合もユーゴの助っ人イレシュのポストプレーが光った。（後藤）

大崎電気 27（16－11／11－9）20 ジャスコ

【ジャ】	得		【大崎】	得
矢部	0	GK	梅野	0
木村	0	GK	藤田	0
松岡	2	FP	大日	0
寺沢	5	FP	宮嶋	3
鷲野	7	FP	石井	1
若林	5	FP	渡部	2
石田	0	FP	徳渕	5
近藤	3	FP	時實	1
三木	2	FP	嘉本	0
野村	1	FP	李相玉	6
十丸	0	FP	李京姫	7
宮本	3	FP	沖山	2
	20	(3) PT (3)		27

（審・佐分 三枝）

○…試合開始後5分は両チーム互いに探り合い得点がなかった。5分ジャスコに初得点を許した大崎は、李相玉のアシストパスが良く通り一気に7得点をあげ15分には7－1と勝負を決めたかに見えた。しかし、ジャスコはその後大崎のミスにつけ込み、速攻を良く出して9－11として前半を終了した。

後半に入ると大崎・李京姫の動きが良くなり、よくシュートを決め、ポイントを李相玉が押えて大崎が勝利を決めた。（清水）

▽決勝

大崎電気 23（14－11／9－10）21 立石電機

【立石】	得		【大崎】	得
井村	0	GK	梅野	0
荒木	0	GK	藤田	0
是枝	0	FP	大口	1
桑原	0	FP	宮嶋	2
亀園	1	FP	石井	4
イレシュ	5	FP	渡部	3
藪田	3	FP	徳渕	1
喜久山	1	FP	時實	0
岩村	4	FP	嘉本	0
近藤	3	FP	李相玉	6
江口	1	FP	李京姫	6
野嶋	3	FP	沖山	0
	21	(4) PT (3)		23

（審・上久保 北井）

○…昨年と同じ顔合せの決勝戦、立ち上がり大崎が2点連取してスタートするものの昨年優勝チーム立石も一歩も譲らず、イレシュのポストシュートを口火に追い上げ、逆に一歩リードして前半を終了。

後半に入って立石は、岩村のロングが決まり2点差としたが、大崎もすぐに追いつき、その後、15分まで一進一退の攻防がつづいた。

15分過ぎ大崎は李京姫のロングシュートから5点を連取して優勢。

立石も必死に追いすがったものの、この点差は大きく、あと一歩で勝利を逃した。（後藤）

昭和58年度公認ハンドボールコーチ研修会報告

ルーマニアのクンスト氏を招いて
全国から60数名の参加者で多大の成果

—指導者養成委育会—

I・H・Fのコーチ手法委員会の委員長であるルーマニアのイオン・クンスト氏を招いて2月4日〜7日まで、標題の研修会が国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催された。全国から60数名の参加者が推薦され、無事多大な成果を持って終了した。

体育館で講演するクンスト氏

一　クンスト氏招聘のきっかけ

指導者養成委員会は2年に一度公認ハンドボールコーチの養成を行なっている。また養成講習会が開催されない年は、公認ハンドボール資格取得者を対象として研修会を開催している。今年度はその年に当っていた。昨年末、日本体育協会の委託事業であるスポーツ国際交流の中に「コーチ招聘」があり、申請をしたところ予算がつくこととなった。さっそく、国際担当の境井氏を通して交渉を始めた。最初の手紙は7月12日であったが、承認の返信がなかなか来ずやきもきしたが、9月6日付の手紙でクンスト氏から次の内容の手紙をいただき、いよいよ協会初の国際的な講師による講習会ができる見通しを持ち、関係者一同胸を熱くし開催の準備を始めた。

「私は、文を書くにあたり、あなたが送って下さった日本における指導者講習会に出席するようにとの招待に対して心から感謝いたします。

私の最初の日本訪問は1960年でありました。その時私は、11人制のルーマニアナショナルチームとともに10試合行ないました。その後私は多くの男子、女子世界選手権において、日本ハンドボールの発展を確めることができましたし、その事は私にとってとても大変な喜びでありました。

私はまず最初に1984年度に関する私の予定を申しのべておかなくてはなりません。というのも、私は相変らず、ルーマニアオリンピックチームの準備に対する直接の責任があるからなのです。この事は当然他の監督さん達も同様であると思います。今私は1984年1月22日から2月12日までの短期間フリーであり、その期間であれば日本に出向くことができるということをあなたに伝えることができます。……………………」

以上の理由で今年度の公認の研修会は世界的な権威者であるクンスト氏を迎えて実現の運びとなったのである。本来、公認の資格を持つ人のみの研修会なのだが今回は、公認資格のない人でも日本のトップレベルに従事しておられる監督・コーチの方々にはぜひ参加していただくよう要請した。北海道から沖縄まで多数の参加希望が参りましたが参加者の定数に若干の余裕があったので、公認の有資格者を通して参加者を推薦していただいた。日本からだけでなく、大崎電気の李氏やマレーシアの文部省派遣のタン氏の顔も見られより国際色が深められた。

二　講師をクンスト氏に決定した理由

クンスト氏は世界のハンドボール界にあってトップクラスの指導者であることは誰もが認めるところであり、今なお現役の指導者として活躍している。世界を何度も制覇した指導者のハンドボールに対する考えは、どういうものであるかを知りたかったのは第一のことであるが、クンスト氏は、日本になじみ深く、また人間的にもすばらしい。それは、日本チームがルーマニアにたびたびお世話になった折などに実感している。最初に日本に呼ぶなら、まずクンスト氏と思われた。

三　講習会を終えて

空港に旅の疲れを見せない元気そのもののクンスト氏を迎えて講習会の日程は始まった。通訳は、ルーマニアの御婦人で日本人の妻として日本滞在14年日の方である。ルーマニア人で日本語もペラペラという人はいないともともとあきらめていたが、偶然大崎電気の常務さんを通して知ることができハンドボールの経験者ということもあって、お願いすることと

なった。名前は鈴木コミアーナさんという高円寺在住の方である。講義だけの通訳の約束が、毎日レセプション等の関係で深夜に及ぶおつきあいとなり御苦労をおかけしたが、クンスト氏の気持が十分伝わる通訳をしていただき満足している。

教室での講義、右が通訳の鈴木さん

指導者というのは、まず人格的にすぐれることが第一であり、その次にその道のオーソリティでなければならない。クンスト氏は、この2つを十分に満している指導者であると確信をせざるを得なかった。日本に着いたその日に、休みもせず、明日からの講義室、体育館を見に行き、オーバーヘッドプロジェクターの置く位置也参加者の見る位置、また講義室の机の並べ方など指示をした後、ホテルに帰ろうかという誘いに応じず、日本リーグ観戦となった。メモを片手にゲームを観戦し、ゲーム終了後には、レフェリーにアドバイスを熱心にするなど、講義が始まる前に、やはりプロであると感心せざるを得なかった。

初日大野専務理事の挨拶の後講義が始まった。午前は理論午後は実技であったが両方ともオーバーヘッドプロジェクターを使ってより説明をわかりやすくしていた。実技は筑波大男子チームがお手伝いした。クンスト氏は、「ルーマニアのやり方を説明することによって、私の考え方を学んでほしい。そして、決してコピーしてはならない」と訴えていた。ブカレスト体育大学の学長でもあるクンスト氏のハンドボールに対する考え方は、さすがに整理され、また系統だったものであった。（内容については後日報告したい）そして何よりも学んだことは技術や理論を伝える人間性であった。ユーモアとバイタリティ、つき出た腹をかかえながら身振り手ぶりで話すクンスト氏に親しみを感じない人はいないであろう。

クンスト氏の講義以外にも収獲があった。それは、朝講義の始まる前1時間と夜の時間を使ってのディスカッションや講演である。光島磯雄氏が参加したI・H・Fレフェリー・トレーナーの講習会の話を参考に、現場サイドからみたレフェリングの問題点について話し合った。（結果は3月末の審判部とトレーナーの合同会議に提案したい）また強化部長渡辺慶寿氏の挨拶があり、男子ナショナルチーム監督市原則之氏、女子ナショナルチーム監督井薫氏には講演をしていただき、参加者に感銘を与えた。

この講習会は、指導者養成委員会の中の一部門である公認指導者委員会（本日娟一担当）が中心となって開催したものであるが、東京都協会・筑波大男子チーム、日本女子体育大女子部員など多数の方々にお世話になりました。お礼申し上げます。

参加者名薄

氏名	性別	勤務地
日野 博路	男	自衛隊体育学校
平岡 秀雄	男	東海大学
渡辺 慶寿	男	自治医科大学
斎藤 和夫	男	県立藤代紫水高校
緒方 嗣雄	男	大和銀行
阿部 徳之助	男	自治医科大学
井 薫	男	立石電機
鈴木 義男	男	ジャスコ株式会社
室川 正治	男	自衛隊体育学校
菅野 富夫	男	早稲田高校
土井 秀和	男	大阪教育大学
佐藤 喜一	男	県立大分雄城台高校
設楽 孝治	男	県立金井高校
儀間 次男	男	県立浦添高校
市瀬 公敬	男	県立機山工業高校
瀧浪 敦	男	県立竹田女子高校
松村 誠	男	駒沢大学
市原 則之	男	湧永製薬㈱広島工場
濱野 信一	男	自宅
松 喜美夫	男	函館大学
八木 弘信	男	舞鶴防備隊
平松 学	男	県立三好高校
永井 那佳	男	日本光電富岡㈱
池田 修	男	福岡教育大学
井手 和洋	男	熊本女子商業高校
酒谷 信彦	男	㈱北国銀行
宮崎 光市	男	道立上磯高校
伊藤 宏幸	男	㈱日立製作所栃木工場
住森 憲治	男	栃木県教育委員会 下都賀教育事務所
飯田 信行	男	中村荷役運輸㈱
谷口 俊郎	男	㈱大崎電気工業
吉田 元	男	県立大垣南高校
梶岡 俊介	男	ジャスコ㈱
田中 秀和	男	府立長野高校
杉尾 哲	男	府立天王寺高校
加藤 宏之	男	
松原 紀機	男	県立境港工業高校
笹倉 清則	男	日本女子体育大学
大西 武三	男	筑波大学
水上 一	男	筑波大学
浅野 鉦世	男	武蔵工業大学
本田 姑一	男	自衛隊体育学校
真木 崇	男	県立今治高校
早川 清孝	男	京都府立芸術大学
松浦 滋	男	市立菊里高校
鈴木 孝八郎	男	県立水海道第二高校
佐藤 常治	男	大崎電気㈱
吹上 明	男	日新製鋼呉製鉄所
池田 鉄哉	男	日本ビクター㈱
河村 レイ子	女	筑波大学
谷藤 勝美	男	釜石商業高校
川上 整司	男	中央大学附属高校
五味 崇恵	男	和洋女子大学附属高校
横内 健生	男	県立佐原高校
TAN. HOCK. SHING	男	筑波大学
一宮 昌平	男	日本体育大学
栗岩 淳一	男	都立日野高校
李 寿祖	男	大崎電気㈱
岩本 晃寿	男	岩本保険サービス
喜井 義雄	男	本田技研
津川 昭	男	湧永薬品㈱

成果あがった高校生（男子）ハンドボール研修会

ジュニアナショナル選手候補発掘

ジュニアナショナル選手候補発掘を兼ねて、高校生ハンドボール研修会を昨年11月～12月にかけて4ブロックで行なわれた。

オリンピック出場で活気づくハンドボール界に、さらに若い力を後続させる意義深い研修会は、4会場（総計43名参加）とも熱気に溢れ、大きな成果をあげることができた。

○研修内容
①「体力テスト」
②「講義及びディスカッション」
○指導コーチ
北岡大覚　本田洋　早川清孝

東北・北海道ブロック

日時　昭和58年11月22日(火)～23日(水)
会場　岩手県立盛岡第一高校
宿舎　岩手県青少年会館
人員　5名

青森・青森商業高校
3年　山野忠一
秋田・湯沢高校
3年　長沢純平
〃　斉藤慎太郎
岩手・花巻北高校
2年　鎌田国学
福島　聖光学院高校
2年　佐藤　誠

関東ブロック

日時　昭和58年11月26日(土)～27日(日)
会場　日体荏原高校
宿舎　日体荏原合宿所
人員　12名

栃木・石橋高校
3年　中田隆
〃　〃　藤森明
群馬・前橋商業高校
3年　山本和彦
埼玉・浦和学院高校
2年　小林義和
〃・川口北高校
3年　三原正規
東京・日体荏原高校
3年　大原政文
〃　〃　明石康宏
神奈川・横浜商工高校
3年　斉藤成行
〃　生田高校
3年　清水昭弘
山梨・日川高校
3年　雨宮健雄
2年　植原幸仁
長野・屋代高校
2年　大久保浩毅

中国・九州ブロック

日時　昭和58年11月26日(土)～27日(日)
会場　山口県立徳山工業高校
宿舎　ホテル明福
人員　10名

愛媛・松山北高校
3年　石丸陽
〃　〃　野田一人
鳥取・境高校
3年　阿部武
山口・岩国高校
3年　森川和俊
〃・岩国工業高校
2年　横井和孝
長崎・瓊浦高校
3年　田中茂
大分・大分電波高校
2年　児玉英彦
鹿児島・隼人工業高校
3年　荒田隆義
宮崎・宮崎南高校
3年　池宮博三
〃　〃　春山尚彦

東海・近畿・北信越ブロック

日時　昭和58年12月3日(土)～12月4日(日)
会場　名古屋市立桜台高校
宿舎　松の里旅館
人員　16名

静岡・星陵高校
3年　細谷直弘
〃　〃　本田勝美
〃　〃　渡辺富士男
愛知・岡崎城西高校
3年　橋本行弘
〃　〃　酒井茂明
〃　〃　島田敏昭
〃・中京高校
3年　野村武志
〃　桜台高校
3年　平松千章
大阪・桃山学院高校
3年　大原稼二
1年　浅沢誠彦
富山・氷見高校
2年　高橋克己
福井・北陸高校
2年　大久保文義
〃　〃　福村正己
〃　〃　城地真弥
山口・下松工業高校
3年　橋本二次夫
大阪・初芝高校
3年　上山和弘

ブラザー電子タイプライターが
1984年ロサンゼルス
オリンピックの
公式タイプライターに
選ばれました。
brother
Electronic
Office
Typewriters
brother®
ブラザー工業株式会社

審判部合同委員会　会議録

日時　昭和59年1月21日～22日
場所　熱海市「新熱海ホテル」
出席者
審判部長　岡前
審査委員　入江、片瀬、佐野、岡本
ブロック部長　新橋、由利、加藤、斉藤、吉田、狩野、河本、東、日野
連盟部長　金原、藤田、近藤、柳井
ルール研　大塚、原、後藤、島田、清水
IHFアジア規則担当　光島

活動報告（座長、佐野）

1　**58年度事業報告**
第7回JHAレフェリーコース公認審判員ブロック研修会、IHFレフェリーシンポジュウム
A級・B級公認審判員テスト、国際ハンドボール競技研修会、審判員研修会、審判員海外派遣
審判部会同委員会等
特に11月23日～26日、ハンガリーでトップレフェリーコースに斉藤、千野ペア参加の報告。

2　**審査委員会活動報告**
A級33名、B級52名が書類審査合格した。

1　**59年度審判員の課題**
(1)　身体接触は厳しく判定する。ハードプレーにともなう反則は段階的に判定する。
(2)　ラフプレーは退場又は失格である。

ラフプレーは競技技術の向上を阻害する。反則の最初の一笛の正確さがゲームの進行をクリーンにする。

2　CR・GRの任務を再確認するとともに、更にオフィシャルとの連けいを密接にしなければならない。
スムースな試合の運営は審判員の責務である。審判員はルールに精通するとともに、二人の審判員のチームワークが第一である。

3　審判員は常に体調を整えなければならない。
選手の力を十分に発揮させ、クリーンなゲームの進行の責務は審判にある。審判は常に選手と観衆とともにある。審判は体調を整えるために常にトレーニングを忘れてはならない。

3　**ブロック及び連盟活動について**
各ブロック・連盟の審判長より活動報告あり。

4　**ハンドボール競技研修会報告**
第一回　58年8月8日　奈良県生駒市。担当者、藤田、岡本審査委員。安藤競技部長。
第二回　58年10月17日　群馬県富岡市。担当者、岡本、佐野審査委員。岡前審判部長。
内容については別紙報告。

議事（座長　佐野）

1　**昭和59年度事業計画及び予算**
内容については別紙了承。
予算　¥3,087,000で前年度の約40万円増である。
オリンピック応援団を編成予定――機関紙に要項掲載。
審判員の身分証明書を作成してはどうか。視聴覚教材の充実、語学研修を行ってはどうか、などの意見が出た。
58年度中央研修会について
今年度（58年度）ブロック研修会予算33万円で中央研修会を実施する。
3月30日（金）東京で実施。
審査委員、ブロック審判長、連盟審判長、都道府県審判長（費用は各県負担）及びトレーナー部門より競技部長・監督の参加を予定している。午前中実技、午後研修会を開く。

2　**昭和59年度レフェリー・トレーナー研修会について**
教職員大会　鳥取県境港市
8月9日　担当者　岡本、片瀬審査員。
国体　奈良県生駒市
10月14日　担当者　佐野、岡本審査員。
尚トレーナー部門の担当者は未定

3　**昭和59年度審判中央研修会について**
昭和60年3月東京で実施。

4　**JHAレフリーコースについて**
前期　昭和59年3月27日（火）～29日（木）
後期　昭和59年8月21日（火）～23日（木）
いずれも東京で実施。
講習内容については従来よりも実技を多くする。

5　**AB級公認審判員テストについて**
A級　6月3日（日）～5日（火）　関東学連新人戦（予定）
B級　東地区＝栃木市22名。
中地区＝京都市16名。
西地区＝長崎市14名。

6　**全日本大会審判員割当**
各ブロックの割当を決定し、3月10日まで、名簿を日本協会に送付すること。

7　**公認審判員認定制度の改正について**
(a)　認定年令を現行20才を18才に引き下げる。
(b)　手続きの簡素化
D級――都道府県協会で認定し手帳発行する。
C級――各ブロックで認定し手帳を発行する。
以上は来年度60年3月より実施する。
(c)　審判員ワッペンの変更について。
AB級は一昨年より変更していたが、CD級についてもAB級と同型のものとする。59年3月より実施。値段については、この3月まで据置く。
(d)　認定料一部変更について
D級は現行申請時には、審査料300円、認定料200円（認定料、手帳、コイン、ワッペン）計2300円であったが、それを新しく、審査料500円、認定料4500円計5000円とする。（認定料500円、手帳500円、ワッペン1000円、コイン500円、レフェリーバック2000円）以上費用改正60年3月より。

8　**審判着制定について**
従来ブロック研修会等で日本協会制定の審判着を作って欲しいとの要望が出されていた。現在はサッカー用のものを購入している。アシックス、アディダス等の業者からも日本ハンドボール協会指定のものを作らせてくれと言う声が届いている。現在型なども検討し、日本ハンドボール協会制定審判着なるものを作ろうとしている。（但し、制定しても今使用されているものを否定することはしない）。

9　**その他**
(a)　終身審判員制度が出来たが活用がはかられていない。協会で名簿を作成し、各都道府県に送付し、組織化をはかる。また各種大会に招いて、レフェリーの指導、助言をしてもらえるようにしたい。若いレフェリーを育てるよう力を貸して欲しい。
(b)　1985年ルール改正について
IFより各国に原案が示され検討されている。内容は特に変化はないが、日本の解釈が、先取りしているような感じである。
(c)　各種大会のエントリーについて。
中込み後、試合前日までメンバー変更を認めてはどうか。現在競技部で検討中で早急に結論を出す。
(d)　高校女子の試合を25分ハーフにしてはどうか。2月の高体連委員会で検討される。

連載――第2回

IHFシンポジューム報告

光島 磯雄

『防御プレーヤーの基本的問題』

――タディウス・プレグラ（ハンガリー）――

1　ゴールに近いほど相手に近づいて守ること。

2　常に自己をゴールと守るべき相手プレーヤーのボールの間に置くこと。

3　ボール保持者の利き腕のはたらく分野をふさぐようにする。このとき正しい足の置き方に注意すべきである。（図A）。

4　シュート角度および予想シュートコースに対しゴールに通じる一分野を身体でふさぐようにすること。（相手からみてゴールの一部がとおしてみえないようにする）。

5　相手プレーヤーの進路を出来るだけ外側へそらせる。

6　ドリブルをしているプレーヤーを不利な進路に行かせるか、ボールをパスさせるか、ボールを（両手で）持たざるをえないように仕向ける。

7　攻撃プレーヤーにフェイントモーションをさせぬようにする。（フェイントのあと外側に行かぬようにする）図3C

8　試合展開場面での守るべき相手の好都合な進路を（身体で）さえぎること。

9　攻撃プレーヤーに対して彼の得意なシュートをうたせぬような守り方をすること。

10　マンツーマンディフェンスを徹底的に練習してその実行と克服を目指すこと。（図D、E）

図A

図B

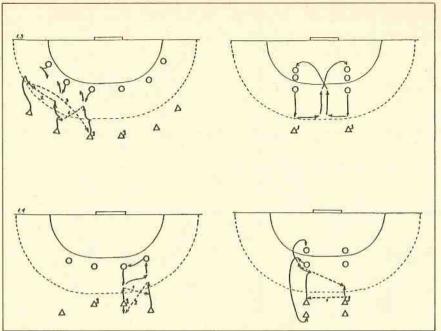
克服を目指すこと

図C

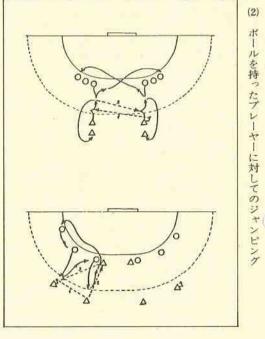
図E

図D

図の見方〈記号説明〉

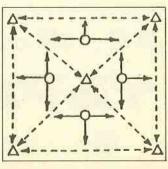
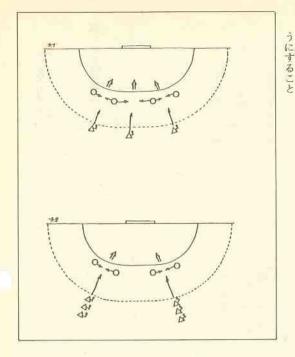
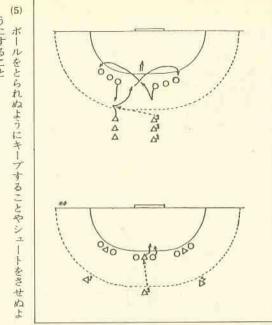
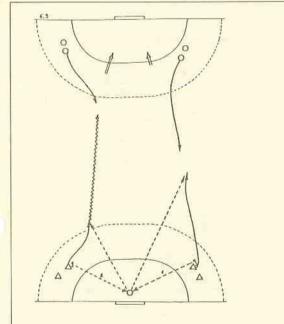
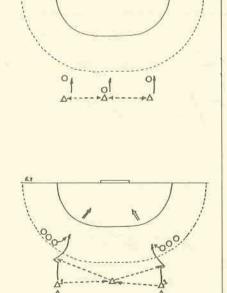
○ ディフェンスプレヤー
△ 攻撃プレーヤー
進路
フェイントをともなう進路
ボールのコース
1、2、3どれかによるプレー
ボール保持者
シュート
スクリーン
ボールを持って進む

#『実技招介』

クシュタ（ハンガリー）

個人的な防御技術

(1) 前後左右への動き（フットワーク）

(2) ボールを持ったプレーヤーに対してのジャンピング

(3) ボールを待伏せしてカットする

(4) ドリブルやパスやシュートをカットする

(5) ボールをとられぬようにキープすることやシュートをさせぬようにすること

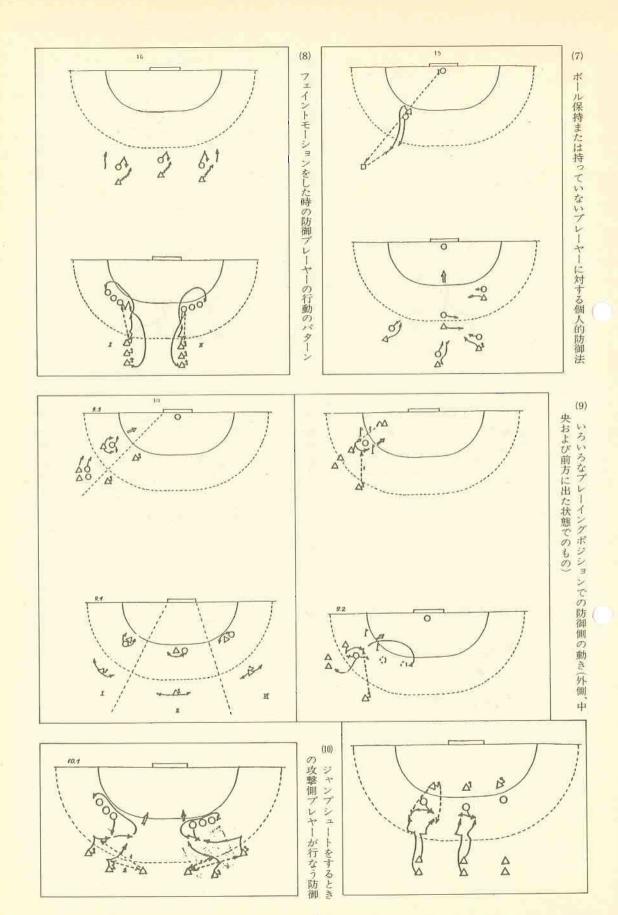
個人的な攻撃技術

(6) 相手に対して遠くからでも近くからでも守る位置をとる

(7) ボール保持または持っていないプレーヤーに対する個人的防御法

(8) フェイントモーションをした時の防御プレーヤーの行動のパターン

(9) いろいろなプレーイングポジションでの防御側の動き（外側、中央および前方に出た状態でのもの）

(10) ジャンプシュートをするときの攻撃側プレヤーが行なう防御

防御プレーヤーの協力関係

(11) 地域別による防御法（ゾーンディフェンス）

(12) 個々の防御――徹底的不断の防御につながる

(13) 攻撃側の進路をさえぎる、またはあけてやる

(14) 防御プレーヤーのゴールキーパーとの協同プレー

各地の記録

●大阪府高校新人大会

〔中央地区予選〕（11月3、6、13日）

〈男子〉

▽1回戦
此花学院 58－1 商大附
教大平野 23－10 山本
天王寺 19－6 阿部野
大和川 18－10 藤井寺工
高津 11－9 池島
桃山学院 18－14 上宮

▽2回戦
此花学院 37－2 藤井寺
八尾 13－7 教大平野
羽曳野 22－12 清風
天王寺 33－6 花園
東住吉 14－10 大和川
阪南 21－15 八尾東
住吉 24－9 高津
桃山学院 26－9 生野

▽3回戦
此花学院 28－6 八尾
天王寺 24－15 羽曳野
阪南 23－12 東住吉
桃山学院 24－19 住吉

▽準決勝
此花学院 21－11 天王寺
桃山学院 19－17 阪南

▽3位決定戦
阪南 22－12 天王寺

▽決勝
此花学院 30（13－3、17－2）5 桃山学院

〈女子〉

▽1回戦
城南 7－4 八尾
天王寺 10－4 生野

▽2回戦
城南 9－6 住吉
大谷 18－1 山本
阪南 11－5 信愛女学院
藤井寺 5－3 鶴見商
八尾東 11－9 池島
東住吉 16－2 高津
四天王寺 40－6 清友
天王寺 18－7 大和川

▽3回戦
大谷 8－1 城南
阪南 9－1 藤井寺
東住吉 7－4 八尾東
四天王寺 28－5 天王寺

▽準決勝
大谷 12－2 阪南
四天王寺 25－3 東住吉

▽3位決定戦
阪南 11－7 東住吉

▽決勝
四天王寺 8（2－2、6－0）2 大谷

〔北地区〕（10月30日11月3、5日）

〈男子〉

▽1回戦
都島工 12－0 箕面学院
大阪商 26－12 豊中
池田 19－10 北淀
千里 29－8 西淀川

▽2回戦
都島工 26－4 市岡
吹田東 19－17 東豊中
大阪学院 36－6 追手門
大阪商 32－5 桜塚
池田 17－9 箕面
東淀川 18－13 北野
北陽 39－10 渋谷
桜宮 23－5 千里

▽3回戦
都島工 32－7 吹田東
大阪商 27－12 大阪学院
東淀川 15－13 池田
桜宮 16－14 北陽

▽準決勝
都島工 17－16 大阪商
桜宮 15－8 東淀川

▽3位決定戦
大阪商 23－9 東淀川

▽決勝
都島工 24（12－5、12－7）12 桜宮

〈女子〉

▽1回戦
桜宮 11－1 北野
宣真 15－1 薫英
桜塚 21－6 成溪
箕面 9－4 豊中

▽2回戦
桜宮 15－2 梅花
東淀川 6－4 千里
市岡 12－9 福島女
宣真 12－0 東豊中
桜塚 17－5 渋谷
刀根山 18－3 北淀川
豊島 10－5 金蘭会
箕面 16－3 池田

▽3回戦
桜宮 7－1 東淀川
宣真 15－1 市岡
桜塚 15－10 刀根山
箕面 14－5 豊島

▽準決勝
宣真 14－3 桜宮
箕面 24－6 桜塚

▽3位決定戦
桜塚 8－5 桜宮

▽決勝
宣真 15（7－2、8－3）5 箕面

〔南地区〕（10月30日11月3、6日）

〈男子〉

▽1回戦
久米田 35－12 堺工高
鳳 23－21 住之江
貝塚南 26－8 和泉工
三国丘 19－8 富田林
初芝 29－18 岸産
登美丘 キケン 金岡

▽2回戦
久米田 24－19 和泉
泉北 23－11 鳳
泉鳥取 16－10 商大堺
貝塚南 18－11 高石
三国丘 15－9 泉陽
初芝 14－12 堺東

岸和田 20－19 泉大津
登美丘 キケン 長野

▽3回戦
久米田 19－17 泉北
貝塚南 29－6 泉鳥取
三国丘 18－11 初芝
登美丘 28－10 岸和田

▽準決勝
貝塚南 26－18 久米田
三国丘 27－10 登美丘

▽3位決定戦
登美丘 33－16 久米田

▽決勝
三国丘 22（8－8、14－7）15 貝塚南

〈女子〉

▽1回戦
貝塚南 13－2 伯大

▽2回戦
貝塚南 13－6 泉鳥取
初芝 11－6 和泉
三国丘 17－5 岸和田
長野 13－12 千代田
貝塚 キケン 岸産
久米田 17－6 東百舌鳥
住学 28－1 泉大津
高石 7－7 泉北
5PTC4

▽3回戦
貝塚南 11－4 初芝
三国丘 10－3 長野
久米田 24－4 貝塚
住学 18－6 高石

▽準決勝
貝塚南 9－4 三国丘
住学 27－2 久米田

▽3位決定戦
三国丘 10－7 久米田

▽決勝
住学 11（5－4、6－0）4 貝塚南

〔東地区〕（10月30日～11月6日）

〈男子〉

▽1回戦
西寝屋川 20－6 城東工
枚方 22－17 芥川
四条畷 19－13 茨木
淀川工 29－2 門真南
長尾 24－5 門真
大東 25－9 島本
三島 23－6 守口北
同志社香里 17－10 南寝屋川
関西大倉 22－8 盾津
加納 26－9 牧野
春日丘 15－14 摂津
茨木工 30－9 高槻北
寝屋川 15－14 浪商
茨木東 16－9 磯島
鳥飼 14－13 交野

▽2回戦
西寝屋川 45－7 食品産業
枚方 27－11 四条畷
淀川工 12－12 長尾
3PTC2
三島 23－14 大東
関西大倉 18－13 同志社香里
加納 14－12 春日丘
寝屋川 16－12 茨木工
鳥飼 10－7 茨木東

▽3回戦
西寝屋川 26－21 枚方
淀川工 16－6 三島
加納 17－12 関西大倉
寝屋川 29－7 鳥飼

▽準決勝
淀川工 12－9 西寝屋川
寝屋川 14－12 加納

▽3位決定戦
加納 17－12 西寝屋川

▽決勝
淀川工 14（6－4、8－3）7 寝屋川

〈女子〉

▽1回戦
大阪市立 11－10 西寝屋川
三島 7－3 磯島
門真 7－4 芥川
春日丘 22－1 茨木東
南寝屋川 17－3 交野
大東 16－5 関西創価
守口北 5－1 東寝屋川
香里丘 14－1 高槻北

▽2回戦
寝屋川 19－8 大阪市立
三島 9－4 島本
門真 8－6 枚方
春日丘 20－1 茨木
南寝屋川 16－1 門真南
摂津 12－5 大東
守口北 6－0 長尾
香里丘 11－5 枚野

▽3回戦
寝屋川 15－5 三島
春日丘 15－4 門真
摂津 14－7 南寝屋川
香里丘 9－2 守口北

▽準決勝
春日丘 21－5 寝屋川
摂津 9－7 香里丘

▽3位決定戦
寝屋川 13－8 香里丘

▽決勝
摂津 9（6－3、3－4）7 春日丘

〔中央大会〕

〈男子〉

▽1回戦
淀川工 20－16 久米田
桜宮 21－13 阪南
都島工 24－6 天王寺
貝塚南 15－9 加納
三国丘 24－13 西寝屋川
大商 17－15 桃山
此花 30－12 東淀川
寝屋川 20－17 登美丘

▽2回戦
桜宮 14－9 淀川工
都島工 27－9 貝塚南
大商 23－16 三国丘
此花 30－11 寝屋川

▽準決勝
都島工 18（9－7、9－4）11 桜宮
此花 20（6－8、14－8）16 大商

▽決勝
此花 16（9－5、7－6）11 都島工

〈女子〉

▽1回戦

住吉学園 21－4 東住吉
寝屋川 9－8 箕面
四天王寺 20－1 香里丘
貝塚南 14－10 桜宮
摂津 10－5 桜塚
大谷 11－0 三国丘
宣真 24－4 久米田
春日丘 14－7 阪南

▽2回戦
住吉学園 12－7 寝屋川
四天王寺 18－4 貝塚南
大谷 7－6 摂津
宣真 11－8 春日丘

▽準決勝
四天王寺 10（4－5, 6－1）6 住吉学園
宣真 14（10－3, 4－8）11 大谷

▽決勝
宣真 9（4－3, 5－3）6 四天王寺

第13回近畿実業団大会

▽予選リーグ
○Aブロック
住友金属 26－18 鐘淵化学
大阪ガス 33－12 住友銀行
住友金属 33－10 住友銀行
大阪ガス 29－16 鐘淵化学
大阪ガス 31－13 住友金属
鐘淵化学 35－14 住友銀行
［順位］①大阪ガス②住友金属③鐘淵化学④住友銀行
○Bブロック
神戸製鋼 35－10 丸善石油
美津濃 18－15 三和銀行
三和銀行 23－16 丸善石油
神戸製鋼 22－12 美津濃
丸善石油 16－16 美津濃
神戸製鋼 21－14 三和銀行
［順位］①神戸製鋼②美津濃③三和銀行④丸善石油

▽順位決定リーグ4～7位
住友金属 25－17 美津濃
美津濃 26－15 鐘淵化学
住友金属 18－13 三和銀行
三和銀行 16－15 鐘淵化学

▽1位～3位
大阪ガス 23－16 神戸製鋼
日鉄建材 19－12 神戸製鋼
日鉄建材 19－12 大阪ガス
［順位］①日鉄建材②大阪ガス③神戸製鋼④住友金属和歌山⑤美津濃⑥三和銀行⑦鐘淵化学

●第1回西日本医歯薬科学生選手権
（12月25、26日）

▽Aブロック予選リーグ
京大 20－18 大阪大
和歌山医大 20－16 産業医大
和歌山医大 28－15 京大
産業医大 35－14 大阪大
産業医大 35－23 京大
和歌山医大 27－5 大阪大

▽Bブロック予選リーグ
京府医大 12－9 滋賀医大
徳島大 28－14 京府医大
徳島大 38－13 滋賀医大

▽3、4位決定戦
京府医大 21－21 産業医大
2PTCO

▽決勝
和歌山医大 17（10－6, 7－7）13 徳島大

●昭和58年度千葉県実業団秋季定期戦
（11月13日、20日）

▽1部リーグ
海自下総 38－12 日産石油化学
丸善石油千葉 35－17 出光千葉
丸善石油千葉 27－23 日産石油化学
三井石油化学 31－23 海自下総
三井石油化学 30－16 出光千葉
丸善石油千葉 24－21 三井石油化学
三井石油化学 29－15 日産石油化学
海自下総 26－20 出光千葉
丸善石油千葉 20－17 海自下総
日産石油化学 29－21 出光千葉
［順位］①丸善石油千葉②三井石油化学③海自下総④日産石油化学⑤出光千葉

●第1回千葉県クラブ秋季リーグ戦
（11月13日、12月11日）
〈男子1部〉
市川FOG 26－18 市原ク
小金ク 13－13 佐原ク
市川FOG 22－16 清水ク
小金ク 22－20 市原ク
佐原ク 30－25 清水ク
市川FOG 19－17 小金ク
市原ク 18－16 清水ク
佐原ク 23－18 市川FOG
小金ク 29－22 清水ク
佐原ク 21－15 市原ク
［順位］①佐原ク②市川FOG③小金ク④市原ク⑤清水ク
〈男子2部〉
▽1回戦
柏ク 12－0 明徳ク
東邦ク 23－13 京葉ク
▽準決勝
柏ク 16－11 木更津ク
東邦ク 23－11 道野辺ク
▽決勝
東邦ク 15－14 柏ク
〈女子〉
▽1回戦
手児奈ク 12－0 東邦ク
水郷ク 9－8 朝顔ク
▽決勝
水郷ク 10－8 手児奈ク

●福井県高校新人大会
（11月19、20日）
〈男子〉
▽1回戦
福井高専 29－20 勝山
北陸 21－5 高志
藤島 15－11 羽水
▽2回戦
福井商 23－12 福井高専
北陸 42－6 武生
丹南 19－11 科枝
金津 29－8 藤島
▽準決勝
北陸 39－2 福井商

金津 33－2 丹南

▽決勝

北陸 21（10－6、11－7）13 金津

〈女子〉

▽1回戦

武生商 24－5 福井女
福井商 12－3 羽水
仁愛女 23－7 北陸
高志 14－5 藤島

▽準決勝

福井商 19－5 武生商
仁愛女 23－5 高志

▽決勝

仁愛女 14（8－5、6－2）7 福井商

●石川県高校新人大会

（11月17～20日）

〈男子〉

▽予選リーグ

○Aグループ

小松工 24－11 星稜
向陽 23－14 羽咋

○Bグループ

県工 23－22 小松
小松明峰 25－17 二水

○A、Bグループ

星稜 41－9 羽咋
小松 24－10 二水

○Cグループ

泉丘 21－5 松任
小松商 27－12 松陵工

○Dグループ

錦丘 30－15 寺井
金沢市工 30－7 金沢商

○C、Dグループ

松陵工 22－17 松任
寺井 21－17 金沢商

▽決勝トーナメント1回戦

向陽 18－18 寺井（2PTC0）
県工 35－13 松陵工
小松 18－16 小松商
錦丘 19－17 星稜

▽2回戦

小松工 29－12 向陽
小松明峰 21－20 県工
泉丘 16－12 小松
金沢市工 17－10 錦丘

▽準決勝

小松工 14（6－5、8－4）9 小松明峰
金沢市工 22（12－7、10－5）12 泉丘

▽決勝

小松工 19（10－5、9－3）8 金沢市工

〈女子〉

▽予選リーグ

○Eグループ

小松市女 18－4 小松商
寺井 27－1 松任

○Fグループ

星稜 7－6 金沢商
小松明峰 14－6 短大高

▽E、Fグループ

小松商 24－4 松任
金沢商 24－5 短大高

▽決勝トーナメント1回戦

寺井 13－8 金沢高
小松商 24－2 星稜

▽準決勝

小松市女 29（17－5、12－1）6 寺井
小松商 26（10－2、16－1）3 小松明峰

▽決勝

小松市女 22（9－2、13－1）3 小松商

●三重県高校秋季選手権

（11月20、23、27日）

〈男子〉

▽1回戦

桑名西 18－15 桑名北
四日市南 13－12 津工

▽2回戦

四日市工 22－10 桑名西
尾鷲 15－9 四日市西
四日市中央工 20－9 津
桑名工 29－9 津東
高田 25－16 津西
亀山 19－18 四日市
海星 12－0 朝明
桑名 22－13 四日市南

▽3回戦

四日市工 20－11 尾鷲
桑名工 17－11 四日市中央工
亀山 25－12 高田
桑名 19－15 海星

▽準決勝

四日市工 26（13－6、13－4）10 桑名工
桑名 20（11－5、9－6）11 亀山

▽決勝

四日市工 27（11－4、16－12）6 桑名

〈女子〉

▽1回戦

尾鷲 13－7 桑名
上野 18－6 四日市南

▽2回戦

暁 18－5 尾鷲
亀山 19－11 四日市西
津東 7－4 四日市
上野 13－5 四日市商

▽準決勝

暁 29（13－5、16－4）9 亀山
上野 20（11－5、9－6）11 津東

▽決勝

暁 24（11－3、13－2）5 上野

●第10回青森県社会人秋季選手権

（12月3、4日）

▽1回戦

陸自青森 24－15 弘前大
野辺地ク 25－24 青商ク
尾上ク キケン 野辺地工業OB

▽準々決勝

青森教員ク 37－19 陸自青森
青森クA 36－19 弘前ク
青森クB 26－22 野辺地ク
七戸ユニオン 30－22 尾上ク

▽準決勝
青森クラブA 33（19－13、14－12）25 青森教員クラブ
七戸ユニオン 29（14－10、15－15）25 青森クラブB

▽3位決定戦
青森教員クラブ 34（16－12、18－8）20 青森クラブB

▽決勝
七戸ユニオン 30（4－2、1－0、11－13、14－12）27 青森クラブA

●第24回群馬県総合選手権

（1月15、16日）

〈男子〉

▽1回戦
前橋ク 20－18 桐生工高
富岡愛球会 33－24 前橋商高
前工ク 31－15 群大ク
吉井高OB 25－8 前橋高
藤岡ク 28－21 前橋商OB

▽2回戦
群馬教員 39－11 前橋ク
富岡高 21－12 吉井ク
下仁田高OB 30－22 富岡市役所
富岡ク 28－24 富岡愛球会
前工ク 26－26 前橋市役所
3PTC2
吉井高OB 34－10 甘楽ク
吉井高 30－20 桐生ク

▽3回戦
富岡高OB 26－22 藤岡ク
群馬教員 30－16 富岡高
富岡ク 35－20 下仁田高OB
吉井高OB 30－16 前工ク
富岡高OB 39－17 吉井高

▽準決勝
群馬教員 25（13－7、12－5）12 富岡ク
富岡高OB 19（12－10、7－8）18 吉井高OB

▽決勝
群馬教員 31（11－15、20－4）19 富岡高OB

〈女子〉

▽1回戦
高崎市女高 12－9 下仁田高OG
高崎市女高OG 20－11 前橋ク
群女短大附高OG 29－10 佐藤学園

▽2回戦
光電ク 25－8 高崎市女高
吉井高 19－18 高崎スカイライン
群馬短大附高 16－7 高崎市女高OG
吉井高OG 22－7 群女短大附高OG

▽準決勝
光電ク 19（12－7、7－6）13 吉井高
吉井高OG 17（6－7、11－4）11 群女短大附高

▽決勝
光電ク 17（8－8、9－6）14 吉井高OG

『ハンドボールのマガジンをもっと読んで輪を拡げよう!!』

「ハンドボーラー」という雑誌がこの1月号で通巻13号になり、創刊以来満一才になりました。このマガジンは大阪に住んでいる人一倍ハンドボールが好きな一人のオッサンが私財を投げ捨ててでもハンドボールを応援しようという意気込みで始められたものです。それも全国規模の大がかりなものではなく、地元の中学・高校生と密着した大地に足がついた方向でのもので、言ってみればハンドボール競技の底辺の充実をねらってのものなのです。全国では東京についで二番目の数多いチーム数を持つ大阪協会の協力をえて大阪市内の中学、府下の高校そして最近では関西学連の試合をこまめに報道しています。そして選手個々人の得点や写真それに審判の人の名前もチャンとのせてあるのです。連載の読み物もあります。「海外遠征体験記」「ハンド理論講座」「ハンド談話室」「規則の解説」などは多くの角度からハンドボールをつねに見直し、過去の歩みの反省のうえに次への発展性の進路をさぐる方向性をもたせています。

先輩格のスポーツイベントの「ハンドボール」は新聞形式のものからスタートしてこの1月号で通巻98号になりますから8年以上のキャリアを持っています。こちらは日本協会のお膝元で、また、東京という現代文化の中央圏に会社がある関係で日本のトップクラスの試合や情報をおもに流してくれています。

「ハンドボーラー」と「ハンドボール」はそれぞれに持ち味が違いますがハンドボール界にとっては有難い情報誌です。

自分達の身近に起こったハンドに関する情報、自分の感じたことなどはハンドボールのマガジンにどんどん送りましょう。それがハンドをやる人々の仲間の輪を拡げることになるのです。みんなが何を考えているのか、どんなことを求めているのかを知るためにマガジンを買って読んだり眺めたりしましょう。

ロサンゼルス・オリンピックの出場権を勝ちとった今日現在が、ハンドボール界にとっては一段の飛躍のチャンスなのです。

（兵庫県協会理事　新井節男）

●第35回長崎県民体育大会

（11月6日）

▽男子リーグ戦
佐世保 34－8 大村
長崎 28－19 佐世保
長崎 32－16 大村
〔順位〕①長崎②佐世保③大村

▽女子リーグ戦
佐世保 13－6 長崎
島原 16－3 長崎
佐世保 11－5 島原
〔順位〕①佐世保②島原③長崎

賛助会は皆んなの会だ

☆　何をするか？

オリンピックはどうなっている？
今年はどんな外国チームが来る？
日本リーグで強いのはどこか？
大学では？高校では？
ハンドボールのビデオが欲しい。
そう。学校卒業後ハンドボールから遠ざかってしまったがハンドボール界の様子を知りたいという人，もっとハンドボールのテクニックを研究したいという人，……。みんながハンドボールを見たり，やったりして enjoy できればいいのです。

☆　会員になったら？

次のような特典があります。

①日本ハンドボール協会編月刊「ハンドボール」を毎月送ります。
②ハンドボールのイベントなどの情報をお届けします。
③日本ハンドボール協会主催の各種大会，日本リーグがただで見られます。
④ハンドボールビデオ，スコアブック，ルールブック，教程書等を特別価格でお頒けします。

☆　会費は？

①個人会員　1口　5千円　1口以上
　4口（2万円）以上納付された方を特別個人会員として機関誌に公示し，希望により口数に応じた特典を差し上げます。
②法人会員　1口5万円　1口以上
　6口（30万円）以上納付された方を特別法人会員として機関誌に公示し，希望により口数に応じた特典を差し上げます。

年会費は，財団法人日本ハンドボール協会の賛助会特別会計で処理され，賛助会の経費に充てた余剰は，強化及び普及事業に充当されます。

☆　入会の手続きは？

特別の郵便振替用紙（兼申込書）を用意してありますので，ご請求ください。本紙にも綴じ込んであります。

ＯＢ会，会社や地方協会など団体で個人会員をまとめて納付される場合は，手数料として会費の10％を控除していただいて結構です。

特別賛助会員御芳名

早くも多数の方の入会申し込みがありました。そのうち特別賛助会員（法人30万円以上，個人２万円以上）を掲載させていただきます。
（敬称略。受付順）

※特別法人会員　(株)デサント　アシックス(株)　新日本製鉄(株)　(株)三陽商会　中村荷役運輸(株)　(株)三景　ジャスコ(株)　大同特殊鋼(株)　ブラザー工業(株)　日本ビクター(株)　大田印刷(株)

※特別個人会員　滝沢　武（滝沢ハム・栃木市）　斎藤英四郎（日本協会・東京都）　荒川清美(同)　武田喜三(同)　大野金一(同)　竹内史衛（淡青社公認会計士事務所・東京都）

大変有難うございました。

東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育館
財団法人日本ハンドボール協会賛助会

財団法人日本ハンドボール協会賛助会
入会のすすめ
マスコットマーク募集要領

10月号でお知らせしたとおり日本ハンドボール協会ではオリンピックを目ざす全日本チームを支援し，また，日本ハンドボール人口をより一層拡大するために，賛助会制度を設けました（別掲）が多くのハンドボールファンに愛していただくために，マスコットマークを，次の要領により，募集することになりました。

◈図案の内容　各層の人が親しみ易い図案で，その中に日本ハンドボール協会マーク（左図参照）が少くとも一つ入っていること。１色以上とするが使用する場合はモノクロとして使うこともある。
◈締切　昭和59年５月31日
◈審査　(財)日本ハンドボール協会常務理事会
◈入選者には賛助会特典１年分と薄謝を贈呈します。佳作入選者にも同様の贈呈をします。

人から、まず人からの科学。バイオメカニクス。

7人は、鳥である。
7人は壁である。

はるか、上空での空中戦を展開する競技である。
鉄壁の、という形容がふさわしい競技である。
防御から攻撃へ、ひとつの動きで移っていく。
コートという名の戦場では、身につけるウェアも、
作戦のひとつなのだ。バイオメカニクスから生まれた
ハンドボールウェア〈スカイハンド〉。
武器のような7人のために。

株式会社アシックス 商品その他お問い合わせは、株式会社アシックス消費者相談課まで。
〒564 大阪府吹田市豊津町2番3号 ☎(06)385-1111(大代表)

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第二二六号
昭和四十年六[illegible]日 第三種郵便物認可
昭和五九年一月二十五日 印刷
昭和五九年二月一日 発行
東[illegible]渋谷区神南一ー一ー一
電[illegible] 代表(467)七〇九七
振替 東京 六ー五八三四八番
編集兼発行人 荒川清美
定価三百五十円(年間購読料三千三百円)